



ママぱれっと2020【報告書】

乳幼児の暮らしを専門職連携で支援する地域拠点事業

ごあいさつ

「ママぱれっと2020」は、2018年度と2019年度に行った「0歳時の発達支援に特化した地域拠点事業」の考え方を受け継ぎ、2020年度は相談支援機能を強化するために、様々な専門職と連携し、一般社団法人 チカクが企画運営に当たりました。

この報告書は、コロナ禍に見舞われた2020年に、試行錯誤しながら行った、リアルとオンラインを組み合わせたママぱれっとの相談支援現場の取組をまとめたものです。

新しい日常も2年目の春です。この報告書が、健やかな子どもたちの育ちを願う各地の支援者のみなさまのお目に留まれば幸いです。

2021年3月31日

一般社団法人チカク 代表理事 赤木美子
ekinotikaku@gmail.com



オンラインカフェ☆
2020年12月17日

季節感 お母さんか
言葉が少なくて
伝えたいこと
- 文化(文) -

りんご スイーツ
みかん お茶

スナック
Chin
にち
+ うらや

お母さんか
言葉が少なくて
伝えたいこと

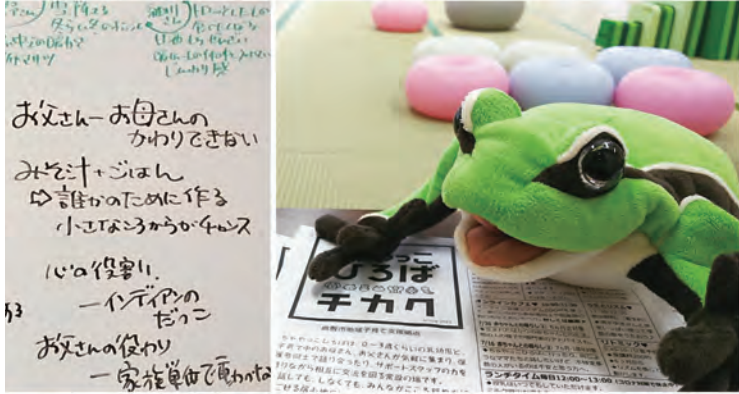
① コロナ時代の
子育て

② 夏の赤ちゃんの
暮らし



- ・あいさつ共有
- ・動画
- ・感想の共有
- ・個別の相談





目次

実施事業一覧

ママぱれっとの視点(2018~2020年度)..... 2

乳幼児の暮らしを専門職連携で支援する
地域拠点事業(2020年度)..... 3

相談支援のゲンバの可能性(ママぱれっと運営)

- ・事業概要 4
- ・運営方法、情報の共有、今後の展開 5
- ・会場の様子 6

ママぱれっとのつばやき

- ・赤ちゃんの暮らし①② 7
- ・赤ちゃんの食事 8
- ・アラ40ママの子育てひろば/子リスのひろば①..... 9
- ・子リスのひろば②/タンブリングタイム 10
- ・関連事業 11
- ・参加者人数とアンケート調査満足度 12

チカクのこと 14

地域子育て支援拠点のこと 15

地域支援事業(一覧)..... 16

連携事業(チカクの歩み) 17

付録 ジブンのこと。

- ・ジブンのこと。 18
- ・大切なキロク。 19
- ・エピソード★ 20
- ・コドモのキモチ★ オトナのキモチ★ 21

ママぱれっとの視点（2018～2020年度）

事業概要

この事業は、独立行政法人福祉医療機構(WAM)社会福祉振興助成 2018年度モデル事業、2019年度、2020年度事業として助成を受け、学童期以降の「生きづらさ」につながる「育ちにくさ・育てにくさ」の解消および軽減を目的に、3歳児以下、特に0歳児の発達課題を丁寧に見る「親子の居場所づくり」を行うために、一般社団法人チカクが助産師・作業療法士・管理栄養士・保育士などの専門職とともに、企画運営にあたりました。

目指したこと

赤ちゃんとの暮らし方、実際の生活がイメージできず、育てにくさを感じたまま「様子をみましょう」と言われて行く場もなく不安にさいなまれる0～3歳児の母親を対象に、医療と福祉のはざまの気楽な相談場所となる居場所の設置が急務であると感じています。まずは、それぞれの家庭でできる習慣の改善、暮らし方の提案を通じて、乳幼児の発達課題を丁寧に見る場所とその担い手を地域で育むことを目指しました。実施した事業は次の通りです。

	2018年度	2019年度	2020年度
拠点事業	ママぱれっと ～ママと赤ちゃんの居場所～ 0歳さんの日 赤ちゃんとお遊ぼう 子リスのひろば アラ40ママのひろば	ママぱれっと ～ママと赤ちゃんの居場所～ 0歳さんの日 → 赤ちゃんとお遊ぼう → 子リスのひろば → アラ40ママのひろば →	ちゃやっこひろばのオンラインカフェ ～自分のおうちで、みんなとつながる～ 赤ちゃんの暮らし① 赤ちゃんの暮らし② 赤ちゃんの食事 ママぱれっと 出前ひろば ～専門職のいる気楽な相談ひろば～ 子リスのひろば① 子リスのひろば② アラ40ママの子育てひろば
	プログラム(午前) (午後) ぱれっとひろば	プログラム(午前) (午後) ふうの実ひろば	タンブリングタイム 2021年度以降は、自主財源での実施を目指すため、別資金を調達し、0歳さんの日は、「赤ちゃんの暮らし①」「赤ちゃんの暮らし②」「赤ちゃんの食事」という3つのオンラインプログラムで実施。「アラ40ママのひろば」はリアルでの別会場で「アラ40ママの子育てひろば」を実施した。
	研修 支援者のためのブラッシュアップ講座 県外からの講師を招いた専門性の高い研修を実施。	連携の欄を参照	連携の欄を参照
	まとめ ママぱれっとの視点 拠点事業のアドバイザーの講演および県外より講師を招いてお話を聞く。	すべての子どもたちに 幸せな子ども時代を コロナ禍でリアルでの開催が中止となり、その代わりに、初めてオンラインという形でネットワーク会議(Webミーティング)を実施した。	相談支援のゲンバの可能性 実際の相談支援のZoom録画を見ながら、三年間の活動、最近の家族のこと、今後の展開について、関係者を中心とした限られた人数で話し合った。
	連携 感覚統合、障がい児支援および障害児の親支援、防災関連の講座への参加や主催・共催などを実施。	・わらべうた研修 ・岡山県保健福祉学会への学会報告 ・FMおかやまへの月1回の出演 ・北欧の乳幼児支援の現状の視察などを実施。	・わらべうた ・乳幼児のいる家庭の災害食などの研修のほか、 ・FMおかやまへの出演 ・北欧視察の報告会などを実施。

乳幼児の暮らしを専門職連携で支援する地域拠点事業（2020年度）

ママぱれっと2020		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
		開催頻度			●	●●●	●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●			
<p>ママぱれっと ～ママと赤ちゃんの居場所～</p> <p>WAM助成事業の実施概要</p> <p>①②は、8月から翌年3月まで8回開催。③はデンマークとつないでオンラインで、10月にリハーサルを兼ねて2日間実施。その後、コロナ禍で必要な遊具の調達が遅れたため、無料のトライアルイベントとして3月に実施した。</p> <p>① 子リスのひろば 10時～12時 医療と福祉の間で不安を抱えている母子が気軽に相談できる居場所 会場：いかしの舎(早島町) 対象：発達に不安のある0～1歳児と保護者</p> <p>② 子リスのひろば 13時～15時 かわり方、体の使い方、専門職・保育士のやり方を見ながら学ぶ 会場：いかしの舎(早島町) 対象：発達に不安のある2～4歳児と保護者</p> <p>③ タンブリングタイム 10時～12時・13時～15時 乳幼児の身体の動かし方をポプルスや身近な道具、複数の専門職と学ぶ 会場：いかしの舎(早島町)他 対象：0歳児と保護者</p> <p>①～③共通 講師：作業療法士(引野里絵) 助産師(村口裕美) スタッフ(保育士2名) 参加：無料。要予約。 8組定員、新規優先</p> <p>その他の事業</p> <p>昨年度までWAM事業として行った「0才さんの日」「アラ40ママのひろば」は、ママぱれっとの枠組みの中で、自主事業として自己調達資金で実施した。</p>	<p>子リスのひろば 赤ちゃんの遊びのこと 10～12時</p> <p>WAM助成</p> <p>日程 感染症対策のため見合わせ 26 29 28 25 8 28 10 17</p> <p>ちょっとこだわる君のこと 13～15時</p> <p>WAM助成</p> <p>日程 感染症対策のため見合わせ 26 29 28 25 8 28 10 17</p>	<p>生きていくために必要な様々な感覚を、外からの刺激で身につけていく赤ちゃん。だから、日々の遊びは赤ちゃんの発達にとっても大切です。おうちの遊びの幅が広がるように、乳幼児の発達に詳しい作業療法士・引野先生に、遊びのヒントを学びます! ※感染症対策として8組以下で実施。</p> <p>★狙い 0～1歳児の育児【遊び】の立ち上がり支援。</p>	<p>どうしてお友だちと仲良くできないのかな。どうしてこの子だけ、こんなふうなの。もっと理解してあげたいのだけども…。そんな時、少し見方を変えると、お子さんの行動の理由もわかって楽になるかも。かわり方のヒントと一緒に考えていきましょう。※感染症対策として8組以下で実施。</p> <p>★狙い 育てづらさを感じる 2-3歳を持つ保護者の悩み相談。</p>	<p>小さな子どもたちのために開発された、転がる家具「ポプルス」を使ったワークショップ。作業療法士の引野さんと一緒に、身体を動かし、心を通わせる遊び方を体感します。10月はデンマークとつないで、オンラインでデンマークの子育てについて、現地の担当者からお話を聞きました。</p> <p>★狙い 0～3歳児と身体を使って心を通わす遊び方。</p>	<p>2018年度から、3年間にわたった「ママぱれっと」の事業について、実際の相談支援のZoom録画を視聴しながら、振り返りました。地域で0歳児とその家族を支えることを、今後どう、伝えて行ったらよいか、最近のお母さんたちの様子、今後の展開についてのアイデアなども話し合いました。</p> <p>★狙い 自己評価シート作成のための、アドバイザー、倉敷市拠点関係者などを含めた振り返り</p>	<p>日ごろ言えない悩みも同年代なら言えるし、気持ちもわかると思います。40歳前後で出産・子育てをしているママとお子さんのための、気軽に相談できるひろばです。悩んでいるのが自分だけでないのだから気持ちもリフレッシュするみたい。プレママも歓迎です。※感染症対策として8組以下で実施。</p> <p>★狙い 0～3歳児を養育中の40代のママ、プレママの悩み相談。</p>	<p>ほかのママや赤ちゃんの様子も知りたいけど、この時期、会いに行きづらい。そんなアナタのためのオンラインカフェ。生まれたばかりの赤ちゃんとおうちにながら、アドバイザーや、ほかの赤ちゃん、ママたちと繋がります。なんでも聞いてね。プレママも歓迎です。</p> <p>★狙い 0歳児の育児【暮らし】の立ち上がり支援。村口(助産師)、細川(管理栄養士)、引野(作業療法士)</p>	<p>赤ちゃんの成長発達に大切な母乳やミルクの与え方と離乳食の関係、赤ちゃんのいる暮らし方など、助産師の村口先生による目からウロコのお話。さまざまな年齢の子たちと遊ばせたり、ママたちとお話したり。保育士さんやスタッフのサポートもあって安心。プレママも歓迎です。</p> <p>★狙い 0歳後半～1歳半の育児【暮らし】のお悩み解消、支援。村口(助産師)、細川(管理栄養士)、引野(作業療法士)</p>	<p>「基本のみそ汁」の作り方を、実際に手順を動画で見て、離乳食に転用できる簡単な調理の仕方を学びます。また、食に関する様々な悩みにお答えします。大人も赤ちゃんも一緒に楽しみながら食卓を囲みましょう。ほかのママたちがどんな風に行っているのかも参考になるかも。</p> <p>★狙い 0～2歳児の「食」に関する悩み相談。細川(管理栄養士)、村口(助産師)、引野(作業療法士)</p>	<p>オンライン講習で、過去の災害について知り、実際に動画で15分ほど、赤ちゃんのいる家庭で普段の暮らしでできる被災時の知恵を具体的な手順でご紹介。いざというときのために、日ごろから出来ることを知っておくことが大切です。また、この講習のスライドと動画をYouTube「ちゃやっこチャンネル」で見たいだけのようにしています。</p> <p>★狙い 災害時の乳幼児家庭の支援。</p>						
			倉敷市拠点 地域支援	日程	感染症対策のため見合わせ	19	14	28	24	15	26	15	29	26	25	
			<p>赤ちゃんの暮らし 6カ月までの赤ちゃん 10～12時</p> <p>地域支援</p> <p>日程 感染症対策のため見合わせ 16 6 10 29 12 10 14 18 11</p> <p>1歳半までの赤ちゃん 10～12時</p> <p>地域支援</p> <p>日程 感染症対策のため見合わせ 30 20 17 22 19 17 21 25 18</p>	<p>赤ちゃんの食事 ～サクサク離乳食～ 管理栄養士 細川良子</p> <p>みんつくJ資金助成</p> <p>日程 感染症対策のため見合わせ 27 30 30 11 18 26 10 15</p>	<p>乳児のいる家庭のための災害食 10時半～11時半 管理栄養士 細川良子</p> <p>みんつくJ資金助成</p> <p>日程</p>											30

関連して行った事業など		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		開催頻度	●	●	●	●	●●	●	●	●	●●●		●
<p>遠野のわらべうたに学ぶ昔ながらの子育ての知恵 木津 陽子さん</p> <p>男女共同参画推進センター 共同事業</p>	<p>昨年度ママぱれっとで実施した講座を、倉敷市男女共同推進センターとの連携で実施。保護者向けと支援者向けに分け、より深い学びがあった。</p> <p>日程</p>								11/30				
<p>エフエムおかやま「コドモノコト談話室」</p> <p>県 域 ラ ジ オ 出 演</p>	<p>子育て世代、広く一般向けに2019年4月から毎月一回、2020年11月からは不定期で、その時々の子育てにまつわる話題と、チカクの子育て支援事業について紹介した。通勤や家事のはじまりの時間帯でリスナーが多く、ラジオを聞いてママぱれっとに参加したり、SNSを使ってコンタクトをとる支援者も。</p> <p>日程</p>	4/9	-	6/10	7/9	8/13	9/10	10/8	-	-	1/28	-	3/11
<p>すべてのこどもたちに幸せなこども時代を ～北欧視察報告会 乳幼児の発達支援の現状～</p> <p>岡山県学童保育連絡協議会研修、高梁川流域学校「備中志塾」</p>	<p>北欧の乳幼児支援について渡航費の助成を受け、渡欧した。作業療法士の私的Zoom勉強会、学童保育連絡協議会主催研修、高梁川流域学校主催研修などで、ママぱれっとの事業と北欧視察について報告会を行った。</p> <p>日程</p>						9/15				1/30,31		

事業概要

学童期以降の生きづらさにつながる、乳幼児期の育ちにくさ・育てにくさの解消・軽減を目的に、子育ての楽しさや保育の仕事のやりがいにも着目し、保育者も利用者も安心して保育・子育てに専念できる地域拠点を実現する事業。

2018-2019年度に行った「0歳児の発達支援に特化した地域拠点事業」をベースに、2020年度は「0歳児の発達支援を核に多職種連携で親子と地域を支える地域拠点事業」と名付け「相談ひろば」を開催。また2018年度からの事業のうち一部を、オンライン相談室や、動画で学ぶZoomを使った双方向の離乳食教室として自主財源で継続、コロナ禍で開催したWAM事業のリアルを補完しました。

ニーズ・課題の取り出し、情報共有

ニーズ・課題の把握および事業の振り返りのために、参加者アンケートをGoogleフォームで集め、また参加した専門職と運営に当たったすべての保育士からも毎回、振り返りとして、意見を集めました。

また、この内容は、専門職と保育士で都度共有し、それぞれの発見や考え方を読むことで、気づきのある情報共有となりました。

■ アンケート・ふりかえりのサマリーについてはこの報告書のP7～P13をご覧ください。

事業構成

2020年度は、WAMの助成を受けてから3年目にあたり、次年度以降の継続に向けて、WAM以外の財源なども入れながら、2021年以降も実施可能な形態を探った一年でした。

なにか不安なことがあると、こどもの観察もそこそこに病院にかかる（医療に投げる）という乳幼児の子育ての現状は変わらず、しかしそれを改善するための万能の対策もみつきりません。

そのためこの事業では、全体の最適化は目指さず、あえて小さく、いくつかのレイヤーでさまざまなニーズに応えられるようプログラム構成を考えました。

このレイヤーの多様性について具体的にあげるとすれば、次の通りです。

- ・参加形態ーリアル（出前ひろば）とオンライン（オンライン相談室）
- ・オンライン相談室「赤ちゃんの暮らし」は二段階の年齢区分（～6カ月／～1歳半）で対応。
- ・特に悩みの多い“食”については、管理栄養士を迎えたオンライン相談室「赤ちゃんの食事」で2歳迄を見る。
- ・ココロとカラダの連携・動きについては出前ひろば「子リスのひろば」で年齢別（0～1歳児／2～3歳児＋兄弟児）に分け、作業療法士と助産師の二人体制で対応した。
- ・妊娠時に課題の多い40代ママのケアは出前ひろばとして継続して実施。

■ 事業構成はP2～3ページに一覧表にまとめましたのでそちらもご覧ください。

社会的インパクト

会って話すという当たり前のことができなくなってしまった時期に、定員を若干絞りながらも、作業療法士や助産師、保育士などの専門職と気軽に相談できる、リアルのひろばを開催できたこと。また、それを補完するオンライン相談室を自主事業として立ち上げたことが成果として挙げられます。これらの活動は、市内の拠点の連絡会や、Facebookなどを介して多くの子育て支援者に伝わり、長引くコロナ禍での支援のあり方に、早い段階から一石を投じる役割を果たしました。

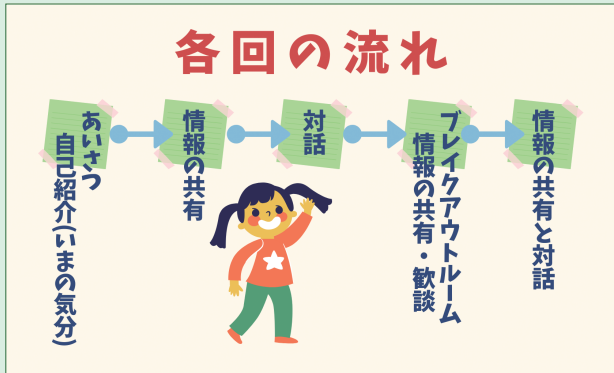
運営方法、情報の共有、今後の展開

■ 流れ

オンラインカフェは次のような意図をもってその日の流れを構成しました(右図1)

>> ①挨拶や自己紹介、歓談(今の気分の表明)、②情報の共有(質問、動画視聴など)、③対話(複数の専門職、参加者の②の感想や補足の質問と回答)、④ブレイクアウトルーム(2時間のプログラムの半ば、10分程度の休憩として、A=アドバイザーと、B=利用者の2チームに分かれたB-roomへ。Aは②③の内容についてそれぞれの見立てと⑤で補足の説明が必要な場合、誰が話すかを決める。Bは歓談。ABとも保育士が一人入る)、⑤情報の共有と対話(④の内容のフィードバック。それぞれの感想などもまとめ)。

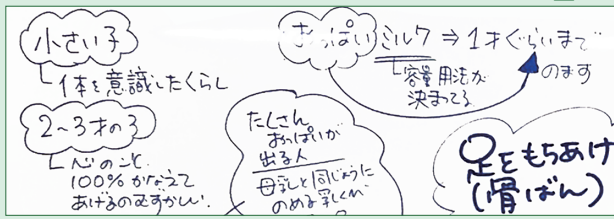
図1



■ 情報の共有

上記のように意識して行ったほか、例えばリアルな現場で、アドバイザーからまとまったお話がある「アラ40ママの子育てひろば」では、話のキーワードをホワイトボードに書き出して情報共有を図りました(右図2)。

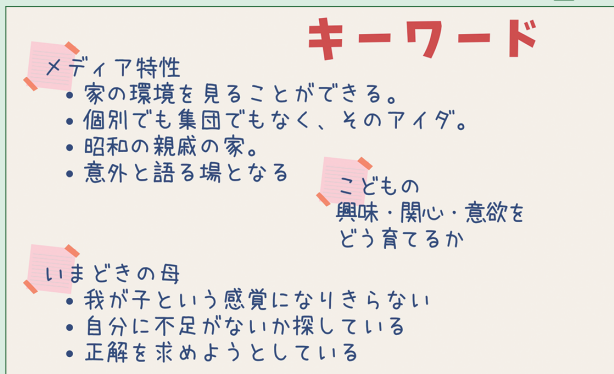
図2



■ イマドキのキーワード

オンライン相談のメディア特性、リアル・オンラインに限らず母たちの様子については、発見が多くありました(右図3)。どのような場であろうとも「こどもの興味・関心・意欲を育てるための支援」が大切であることを、アドバイザーの専門職のみなさんとも共通した認識として確認しています。

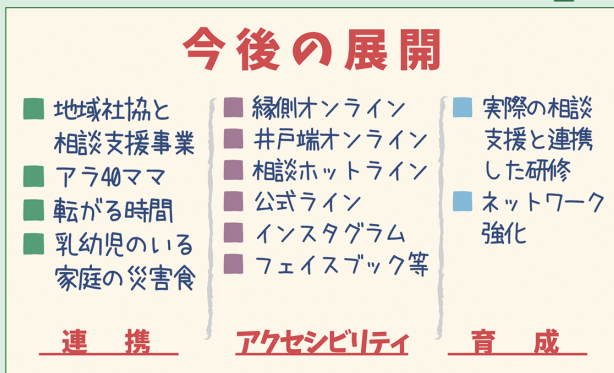
図3



■ 今後の展開

2018～2020年を通じて行った事業について、今後も、多様なレイヤーで実施する予定です(右図4)。特にオンライン相談については、短時間で頻回のもの(縁側、井戸端)、相談以前のお喋りも可のLINE電話による相談事業をすでに開始したほか、地域社協や、専門職との継続した取り組みを実施予定です。

図4



会場の様子

コロナ禍で始まった2020年度は、それまでリアルで行っていたプログラムを一部オンラインを活用とした相談室とし、リアルで行うプログラムについては、感染対策を徹底したうえで、定員をほぼ半減、その後、兄弟での参加の場合はこどもの数で制限するなど密を避けて実施した。

※参加人数などについてはP12～13を参照

■ 子リスのひろば(午前) 2021/1/28



いかしの舎母屋1階(早島町)

■ 子リスのひろば(午後) 2020/9/29



いかしの舎母屋2階(早島町)

■ オンラインカフェ赤ちゃんの食事 2020/9/3



■ オンラインカフェ赤ちゃんの暮らし 2020/7/30



■ ママと赤ちゃんの転がる時間 2020/3/19



ちゃやっこひろば(茶屋町)

■ アラ40ママの子育てひろば 2020/7/14



くらしき健康福祉プラザ(笹沖)

2020年度は、参加者だけでなく、アドバイザーや当日の保育士、企画・運営担当からも「ふりかえり」を集めました。コロナ禍、オンライン、お悩みなど、いくつかの項目でピックアップして抜粋した内容です。

ちゃやっこひろばのオンラインカフェ ～自分のおうちで、みんなとつながる～

ほかのママや赤ちゃんの様子も知りたいけれど、感染が心配…。そんなアナタにオンラインカフェ。赤ちゃんとの暮らし・食・からだのことをテーマにお話します。ひとりでも、はじめてでも大丈夫。安心してお話できます。

<h3>赤ちゃんの暮らし①</h3>	<p>【対象】～6カ月まで 【アドバイザー】村口裕美</p>	<p>生まれたばかりの赤ちゃんと一緒に、おうちにいながらオンラインで、アドバイザーやほかのママたちとつながります。</p>
<p>アドバイザー振り返りより(一部抜粋)</p>	<p>参加者アンケートより(一部抜粋)</p>	
<p>多職種連携 作業療法士、栄養士、助産師の立場からの視点が共有できる会話は、相談者にとっては、今後幅のある子育てへと発展できるのではないのかしらと思いました。</p> <p>生まれてくるお子さんのもともとの力を見極めて、その後のフォーマル、インフォーマルのサポートによって子どもの自立は大きく違ってくると一人を多職種でみつめて強く感じた。</p>	<p>多職種連携(40代) それぞれ専門の先生がお話をしてくださり、細かい相談ができてとても満足しました。</p> <p>オンライン相談(40代) 初めての参加でしたがオンラインということで、赤ちゃんのお世話もしながら気軽に参加でき、すごくよかったです。会場に行くものだと、行く準備をしたり遅刻しないようにと時間を気にしたり、途中でぐずったら迷惑かけるかも…と気が引けることも多いですが、オンラインはそういう心配もなく安心して参加できました。また参加させていただきたいです。ありがとうございました。</p>	
<p>オンライン相談 新生児さんのお母さんが参加されたのも、オンラインカフェだったからこそ、気楽に参加しやすかったのではないかな、と思いました。お母さんたちも、チャットで文字で質問するなど、オンラインならではの方法が、適するお母さんもおられるのかな、と思いました。</p> <p>初対面でオンラインの場合、どこまでお伝えしたらいいか、という線引きが少し難しいときがある。リアルとオンラインがつながっていることも必要だと感じました。</p>	<p>オンライン相談(40代) オンラインでほかの方の悩みも聞くことができ、自分や自分の子どももそうだったなと思い返すことができ、親としての自分や子どもの成長を気づくことができ、毎回楽しみに参加しています。</p>	
<p>コロナ渦 リアルと違うところは、参加者同士が話をしあうというところが難しいなと思ったが、専門職連携であらゆる角度で、赤ちゃんとの暮らしを総合的に見つめていくことがこのコロナ渦でもこのような形で提供できることはこの事業ならではのと思った。</p>	<p>コロナ渦(40代) 悩み相談のとき、それぞれ専門のアドバイザーの方より、アドバイスをいただける。外出しにくい状況のため、ほかのお母さんの悩みを聞くことで、みんな悩みながら頑張ってるから、自分も頑張ろうって思えた。</p>	

<h3>赤ちゃんの暮らし②</h3>	<p>【対象】7カ月～1歳半児 【アドバイザー】村口裕美</p>	<p>離乳食のことや食生活のこと、赤ちゃんの社会性のこと。なんでも安心して話しできるオンラインカフェです。</p>
<p>アドバイザー振り返りより(一部抜粋)</p>	<p>参加者アンケートより(一部抜粋)</p>	
<p>多職種連携 参加者が常連さんで、お互いに信頼関係があるなかでの気軽な相談という雰囲気があり、深刻な悩みではないけれど、訪れてくださったことで、健診等では伝えたくても伝えきれない、月齢のお子さんをお持ちのお母さんたちにお伝えできるいいチャンスだったなと思った。村口先生、引野先生の総合のかかわりがあるからこそ、成り立つ場面をいくつも感じた。</p> <p>早い時間にミーティングルームを設けて、アドバイザー同士で話し合いを持てたのがとてもよかったなと思いました。</p>	<p>多職種連携(30代) 月齢でそのとき、そのときの悩みがどんどん変わっていくので、毎月のオンラインでいろんな先生方に聞いてもらい相談できてすごく安心できました。これからもよろしくお願いします。</p> <p>オンライン相談(30代) 日頃不安に思っていること、知りたいと思ったことがお聞きできた。オンラインながら、親身になってアドバイスしていただけた。ただ、やはり初対面の参加者同士はオンラインだと腹を割って話づらい。対面だとすぐ仲良くなれそうな方とも、何か遠慮や「どんな人なのかかわからない」感覚があり、もどかしかった。この外出しづらく孤立しがちな状況でこうした機会を作ってくくださったことには感謝しかありません。</p>	
<p>オンライン相談 参加者のママたち、本音を出してくださったりする場面がありました。カフェの一体感を感じ、オンラインでもここまでできるんだと自信につながりました。直接支援だと、支援者としての観察事項(専門的立場で見つめるアセスメントのようなもの)ができるのでそれはそれで大切な部分だと思います。しかし、オンラインカフェ♥多職種とママが混じり合うことの大切さがにじみ出ていてとてもよかったと思っています。</p> <p>積極的に素直にご自分の思いや意見を言うてくださるお母さんがおられたり、チャットでお母さん同士の会話があたり、スタッフの方が必要な情報を書き込んでくださったり、オンラインならではの交流のある会だったと思いました。</p>	<p>オンライン相談(30代) 4月から仕事復帰ということでこれが最後のオンラインカフェでした。アットホームな感じで本当にオンライン家族であたかく迎え入れてくださって、ゆっくり、じっくりお話も聞いてくださり、私は本当に安心して帰ってこれる場所にもなっていました。形は変わると言われていたのですがまた参加できる機会があれば、その時はよろしくお願いします。大好きな場所オンラインカフェ、ありがとうございました。</p>	
<p>雰囲気 馴染みのできた関係の人たちとの共有スペースでした。途中赤ちゃんがぐずったりおっぱい飲んだりものを食べたり自由に参加してる様子がうれしかったです。</p>	<p>コロナ渦(30代) 家にいることが多く刺激がないなかで、みなさんと顔を見てお話できたことがなりよりもうれしかったです。悩みは毎日ありますが、先生から教えていただいたことを実践して日々楽しく過ごせたいなと思います。</p>	

ちゃやっこひろばのオンラインカフェ
～自分のおうちで、みんなとつながる～

てきとう、でも美味しい 基本の味噌汁
赤ちゃんの食に関する悩みにお答えしながら、離乳食に転用できる簡単な調理の仕方を動画を交えて学びます。

赤ちゃんの食事

【対象】～2歳児
【アドバイザー】細川良子

食に関する様々な悩みにお答えしながら、離乳食に転用できる簡単な調理の仕方を動画を交えて学びます。

アドバイザー振り返りより(一部抜粋)

多職種連携

赤ちゃんの食事の悩みは栄養士だけではとても対応が難しいかと常々思っていたので、今回このような形で頼もしい先生方と多職種連携させていただけたのはありがたく、多角的に私もママたちも子どもの成長に必要なことを知ることができたのかなと感じた。

食べること。とても大切なことですが、その前の授乳や、身体の活動状態などを振り返ることも大切なので折に触れて、発信していきたいと思いました。OT 目線のアドバイス! 赤ちゃんの周りの環境についてと姿勢についてわかりやすく伝えていただきました。やはり多職種が、それぞれの立ち位置で話ができてことは、支援者としての学びを深めることとなります。ありがとうございました。

味噌汁動画

お母さん方の食の悩みは多様だな、と改めて感じました。一方で、食べることを切り離して考えるのではなく、生活リズム、体を動かして遊ぶなど、お子さん(親子)の暮らし全てと繋がっていることも、先生方のお話をうかがいながら確認させていただきました。村口先生から、授乳期の様子が離乳食期に繋がっていることも、わかりやすく説明があったので、やはり、0歳初期からのかかわりが必要だと感じました。細川さんのお料理動画は、離乳食だけでなく、家庭料理全般に活かせる知恵が詰まっているな、と思いました。次回以降も楽しみです!

まだまだ続くコロナの影響下、なんらかのかたちでこの味噌汁動画を有効に使って、来年度の取組みに行かせていただけたらいいなと思いました。お母さんたちの経験値を助けるような取り組みを食を通じてできたらと思います。

オンライン相談

今回は、リピーターさんと新人さんがいりまじりで月齢が1歳児に集中していたこともあって、離乳食の作り方というより、食べない悩みが多かったかなと思った。初回の方のお悩みについては、動画の前か、動画の終わった後すぐにご返答する必要性があるものがあると思うのですが、その方のお悩みがどこから来るのかがよくわからないこともあり、生身で会えない難しさだなと思った。個性が高いご相談をどうするかが悩むところです。おやつをいつあげるのかのタイミングや子どものおやつの意味、またぐずるときのかかわり方など先生方がいらしゃったので総合的に対応をお伝えできたかなと感謝です。

お悩み

細川先生のお味噌汁のバリエーションの豊富さと手際のよさが、会を重ねるごとに感じられた。また「できそう!」と思える様に伝えてくださるのがとってもいいな、と思った。少し前に悩んでいたが、工夫して取り組んだ結果、今は解決した、などの経験談をお話くださるなど、同じように今悩んでおられるお母さん方の参考にもなるなと思った。会を重ねているからこそそのやりとりだなあとも感じた。

参加者アンケートより(一部抜粋)

ほかのお母さんの悩みを聞ける(30代)

栄養バランスの整え方について、ずっと気になっていたことが解決しました。ほかの参加者の方の悩み相談から、言われてみれば気になると思うことや、新しく知ることができたこともたくさんあって、充実した時間でした。

味噌汁動画(30代)

「お味噌汁にたんぱく質を必ず入れるようにする」という方針ができてきたなと思いました。お味噌汁の具は、いつも何となく気分で決めてしまっていて、マンネリ化しがちなので、「お野菜はこれ、じゃあたんぱく質はこっち」と考えるフックがあると、献立を考えやすくて助かります。

味噌汁動画(30代)

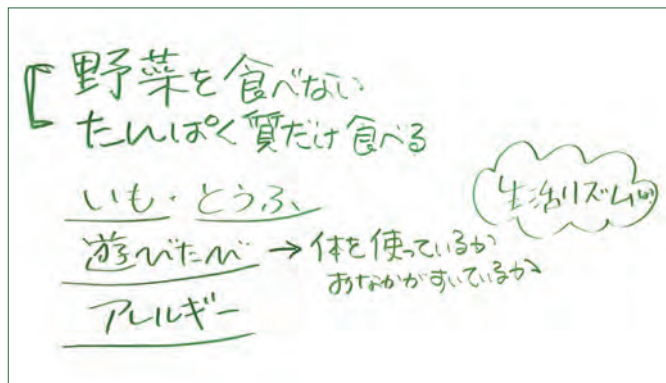
早速、お味噌汁の過程で離乳食を作りました。同じ時間に食事をするに加えて同じものを食べるという喜びを味わえました。舌や唇の動きも観察しながら成長を感じました。

お悩み(30代)

共食を意識するようになって以来、私が食べた野菜などをとりあえず口に入れてくれるようになった。嘔むだけで出したりすることはあるが、そのまま食べることもあるのでうれしいです。

お悩み(40代)

悩みに対し、まずは受け止めてくれ、アドバイスをくださるので、子育てはたいへんですが、明日からも子育てを楽しみながら頑張ろうって気持ちになります。



ママぱれっと 出前ひろば ベテラン助産師、人気の作業療法士などの専門職がいる気軽に相談できる「居場所」です。
 ～専門職のいる気軽な相談ひろば～ 対象児の年齢や、お悩みによってプログラムが分かれています。

アラ40ママの子育てひろば	【対象】 0～3歳児 【アドバイザー】 村口裕美	助産師の村口先生、同年代のママたちと子育ての悩みをお話して、スッキリ。
アドバイザー振り返りより(一部抜粋)		参加者アンケートより(一部抜粋)
<p>アラ40ママ</p> <p>動きを見ながら、赤ちゃんに触りながら感覚が充実したなかで話せることは満たされるものがあります。密に心配りしながら、一方的な話にならないように気を配りました。アラ40ママ!やはり自分から動かれるお母さんたちは、しっかりしておられますね。自分を切り替えて変えられる後ろ姿がありましたね。</p> <hr/> <p>とても穏やかな雰囲気を作れている。アラ40世代独特の落ち着いたものがありました。アラ40ママの体にとって負担のある育児の時期。母の体のセルフメンテナンスが提案できるといいですね。やはり、床遊びができないのだなあと感じる赤ちゃんたちの表情がありましたね。</p>		<p>アラ40ママ(40代) 同年代の方と話を月齢の近い子どもの状況や悩み、情報交換をすることができてよかった。</p> <p>アラ40ママ(30代) 気がかりだったことや子どもの様子を見て遊び方のアドバイスがいただけたし、年の近いママたちがいることに安心感を持てたので参加してよかったです。</p> <p>お悩み(30代) 子どもの発達に関する体操やマッサージを教えてもらった。ハイハイや座るとき、抱っこをするときの方法など。</p> <p>お悩み(40代) オモチャを奪う、片付けない、歯磨きできない、痲癩が酷い、家事が進まないなどみんな悩みながら育児してるんだと思って自分だけではないんだと感じた。</p> <p>お悩み(30代) 幅広い年代の子どもたちとお母さんたちが集合して、悩みを相談できてよかった。自分の悩みも解決できたし、ほかの家族の悩みも共有できて今後にも役立てられそうです。</p>
<p>コロナ渦(30代) なかなかコロナでほかのママさんと話す機会がなかったので楽しかったです。</p>		

子リスのひろば① 赤ちゃんの遊びのこと	【対象】 0～1歳児 【アドバイザー】 引野里絵	赤ちゃんとのかわりがわからない…。ほかの子とどこが違う。そんなときに来てみてくださいね。
アドバイザー振り返りより(一部抜粋)		参加者アンケートより(一部抜粋)
<p>多職種連携</p> <p>初めて参加の親子さんが数組あったので、自己紹介&悩みの共有をした。個別の話の時間が必要そうなお母さんが数名おられたので、その後、村口先生、佐藤先生とともに、各親子さんと個別にお話したりかわらせてもらう時間を設けた。親子さんに応じて、時間配分を均等にすることが難しかったが、複数の先生方がそれぞれにかかわってくれたことで、お母さんたちもいろいろとお話できたのではないかと、思う。お子さんの発達や家庭的なサポートが必要な親子さんについては、行政(保健師さんや福祉など)との連携も必要だと感じるケースもあった。まとめの話では、子どもとのふれあい(じやれあい)、表情を大げさにした顔遊び、子どものしていることに言葉を添えていくなど、親子間のかかわり(遊び)のポイントをお伝えした。</p> <hr/> <p>こんな場所が提供できていることがとても幸せだと感じました。専門職の意見を聞きながら日常生活を整えていく。それは、そのまま赤ちゃんの育ちにつながり、生まれてきてよかったと感じる子どもたちになっていくと思われました。気になることがあっても、その場に自分の思いを吐き出して帰られる安心できる場所ですね。支援者も心地よい。食べるを支援する個別対応、今後検討すべきことだと感じました。そして、授乳の問題も個別の相談が持てるといいですね。専門職が繋がりが一人のお子さんを3ヵ月～半年毎に評価できるシステム作りをしたいものです。茶屋町がそのモデルになることを願っています。</p>		<p>遊び(30代) それぞれの赤ちゃんの悩みや特性に合わせて、自宅でもできる動きなどを教えてもらえたこと。歌や遊び方、赤ちゃんの過ごし方も丁寧に教えていただけてよかったです。</p> <p>遊び(30代) 温かい雰囲気のゆっくりと話を聞いていただけた。また子どもの好きなこと、遊び方を見つけていただけた。</p> <p>お悩み(30代) ハイハイしなかったのに、刺激があったからなのか、帰ってきてからハイハイをするようになっていた。ボズルスの上でゆらゆらするやり方があることを教えてもらって、興味を持った。</p> <p>お悩み(30代) 発達に合わせたアドバイス、授乳のことなど、悩んでいたことを相談できたこと。また解決策だけでなく、日々の自身がしていた育児を、いつも肯定してくれたり、背中を押してくださるので、今まで過ごしてきた日々は間違っていないかったんだ、といつも安心できます。</p> <p>息抜き(40代) 実際に先生方や参加者の方と会って、教えてもらったり、息抜きになった。リアルで会うのもやはりいいなと思いました。もちろんオンラインなら家にいて行かなくてよかったり、周りに気を遣わなくてよいというよさもあるので一概には言えませんが、内容に応じて両方が活用できると素晴らしいなと思いました。</p> <p>息抜き(30代) 専門の先生にその時々悩みを相談ができ、同月齢の赤ちゃん同士でふれあい、ママ同士でも話す機会があり、母子共に充実した時間を過ごすことができました。</p>
<p>お悩み</p> <p>今回は、歩き始めがゆっくりなお子さんのご相談が数件。年齢とできるようにすることの組み合わせは、情報として知っておられるが、そこへ至る経過が大事であることもお伝えした。準備が整うことで次のステップに繋がるので、準備としての「今」が大事であること、歩くことの段階で、正しい歩きの重要性もお伝えした。</p>		

ママぱれっと 出前ひろば
～専門職のいる気軽な相談ひろば～

ベテラン助産師、人気の作業療法士などの専門職がいる気軽に相談できる「居場所」です。対象児の年齢や、お悩みによってプログラムが分かれています。

子リスのひろば②
ちょっとこだわる君のこと

【対象】 2～3歳児
【アドバイザー】 引野里絵

育てづらさを感じることがありませんか？悩んでいるなら、ここにきてみませんか？

アドバイザー振り返りより(一部抜粋)

多職種連携

制限された人数だったけれどお子さんたちはよく遊べました。お母さんたちともゆっくり話せました。それぞれの専門職のコメントをいただきながら笑顔を残して帰られました。どんなことでも、聞ける。誰とでも話せる。子どもは安心して遊べる。専門職の垣根の無い、親子の観察のできる空間でした。

遊び

お子さんの年齢層が多様だったが、大人の見守りのもと、特に2～3歳のお子さん3名が混じり合いながら、その年齢らしいハツラツさと活発さで遊んでいるのが印象的だった。ジャンプしたり、飛び込むなどの、ダイナミックな遊びも、見守りの大人(スタッフ)がいることで、危なくないように挑戦できる環境を作ることができたことで、子どもたちがどんどん遊び込んで行く姿が見られたと思う。できるだけ、子どもたちの挑戦心を実現できる環境を作るためには、親子さん以外の大人(「(遊んで)いいよ」「(子どもがしたいことをしても)大丈夫」と言ってあげられる人)の存在が必要なのかな、と感じた。お子さんの年齢の幅があっても対応できる、ふれあい遊びを保育士さんが提供してくださったのもよかった。

昨年利用されていたお子さんが何名か来てくれていたので、成長した姿に会えてよかった。昨年から利用してくださっているお母さんたちは、体を動かして遊ぶ重要性を感じてくださっていて、家でも実践しようとしておられることを感じることもできたのもよかった。

参加者アンケートより(一部抜粋)

遊び(40代)

子どもたちがとても楽しんでいる時間を過ごすことができています。前回からの成長を見ていただき、できるようになったことや、寝返りが左右両方できなくても、体の使い方は問題なしとアドバイスをいただけた。子どもの笑顔を見るのが一番うれしいので、とっても楽しい時間を過ごすことができました。

お悩み(30代)

普段、専門家の方にお話を聞いていただくチャンスなんてめったにないので、とてもありがたい貴重な時間を過ごせるから。また、子どもの発達のアドバイスやサポートだけではなく、私たちの気持ちに寄り添ってくれ本当に救われるから。

コロナ渦(30代)

オンラインでいつもお話していましたが、実際会って体温を感じる、って大切なことなんだと実感しました。こんな世の中になりたくさん不自由なことがありましたが、子リスのひろばは安心していける場所でした。一時は行くことも、正直どうかかなあと考えていましたが、今となってはとてもよい場所、よい時間だったなあと感じています。ほかの同じくらいの年齢、月齢のお母さん方とも同じ悩みをわかち合えることも、とても為になりました。

タンブリングタイム
ママと赤ちゃんの転がる時間

【対象】 0～3歳児
【アドバイザー】 引野里絵

0歳から体を動かす喜びを！赤ちゃんとも目を合わせ、親子で楽しめる遊び方や知恵を学びます。

アドバイザー振り返りより(一部抜粋)

タンブリングタイム

オンラインでデンマークと繋いで、ポプルスで大事にしている概念や遊ぶ家具を使うことでの親子遊びの意義を伝えてくださった。遊びを通して、親子の絆を育むことを大事にしていることが随所で伝わってきた。

ドーナツ、フィッシュ、ワニ and チキン。一つずつ、保護者の方にも体験してもらいながら、ポプルス社のビデオも見ながら、親子と一緒に楽しむことを体感してもらえることを意識して、お伝えした。ビデオがあったので、皆さん使い方のイメージがしやすかった様子。3歳のきょうだい児さんお2人が、ムードメーカーだった。子どもの発想は素晴らしい!!
午前中は、終了時に眠っているお子さんが2人おられた。時間的にはちょうど良かったか…??お父さんも一緒に参加のご家族が2組あった。

参加者アンケートより(一部抜粋)

タンブリングタイム(30代)

先生が少しでもアイコンタクトやママと過ごす時間を持ってくださいと言われ、改めてそうしようと思った。

タンブリングタイム(30代)

これまで、ドーナツに座って弾んで遊んだり、並べてある動物を上り下りしたりはしていました。寝そべて体を揺らしたり、叩いて振動を感じたりする使い方には「なるほど!」と思いました。

タンブリングタイム(30代)

上の子も下の子にとっても楽しい!時間半だった。タンブリングタイムのなかで上の子のやりたいと下の子の好きが両方見ることができた。presence、子どもとかかわるなかであまり意識したことがない概念でした。引野先生も村口先生も子どもたちみんなをたくさん褒めていることが印象的でした。



関連事業 コロナ禍で始まり、Zoom、Canva、Google Documents、LINE 公式 など、複数のアプリを試行錯誤しながら使い学びながらの一年でした。オンラインで行ったそのほかの研修、まとめミーティングよりご紹介します。

相談支援のゲンバの可能性

アドバイザー振り返りより(一部抜粋)

村口裕美 (助産師・看護師・保健師)

外部の専門職を交えてのオンライン。内容的にも充実しておりました。倉敷に住むお母さんたちを支援する方へのメッセージになれるといい。茶屋町における母子支援の実際の新たなスタートラインとしてもみれた内容だったと思う。

引野里絵 (作業療法士)

参加して下さった方に、多職種でかかわっていくことの必要や重要性が伝わったのはよかったです!また、判断基準が自分の外にある、数値的なものに頼る傾向があるなど、現代のお母さん(大人)像の課題も共有できた。その課題は、自分の内側を感じることを取り戻していくチャンスとして、子育てという作業があり、体験しながら、学んでいくプロセスに相談の場が活用できる可能性も示されたと思われる。

細川良子 (管理栄養士)

8 か月間、事業にかかわらせていただき、そのすべてが本日の回に表現されていた。このメンバーであったからこその上質な連携を味わった。一人ではできない子育て支援の現場をよく表し、このような活動が当たり前になる社会が実現されたいと思った。私の人生も変わる8か月間。事務局のみなさんにも支えられ、心より感謝している。

遠野のわらべうた

【アドバイザー】木津陽子

アドバイザー振り返りより(一部抜粋)

オンライン

午前中は、親子の参加者さんが多く、オンラインで画面越しでのやりとりが、心配でしたが、思ったよりも、みなさん慣れているのか、会話ができてびっくりでした。

午後が、保育園の保育士さんが多かったと思います。勤務中の職場からの参加のようだったので、たいへんだったと思います。今、リアルに自由に会えないなか、オンラインでもお互いに歩み寄ることで、離れたもの同士がコミュニケーションとることが、できるのだなと思いました。まだオンラインに慣れてないので、改良の余地様々あると思いますが、経験を重ねることで、これから、コロナ後に、ひろばには行けない、もしくは行きたくないような親子でも、オンラインなら参加してみようと思う保護者の方の、選択肢の一つとして、継続、発展させていくことも重要かと感じました。また、これは、高齢者にも言うことではないかと思えます。

参加者アンケートより(一部抜粋)

アドバイスについて(40代)

子どもと向き合い、自分も楽しみながら、歌を歌ったりしていきたいと思いました。小さいときから模擬語、擬音語だけでなく、ちゃんと名前を伝えていく必要性。一人遊びをしているときも、名前を呼びながら一緒に遊んであげることの大切さなど学びました。

アドバイスについて(40代)

子どもの正面から声をかけるとよい、短い言葉の繰り返し、など実践してみようと思います。わらべうたは反応がなくても信じてやり続けることが大切。最終的に自分で考えて行動できる子になる為に、私なりにいろいろとやってみようと思います。

アドバイスについて(50代)

わらべうたは、最終的には、自分を知ること、自分を好きになること。目の前の赤ちゃんが笑顔で楽しむことが大事。それから、生き方の正中線とは、自分で決める覚悟。自分の軸を持つということ。

乳児のいる家庭の災害食

【アドバイザー】細川良子

アドバイザー振り返りより(一部抜粋)

災害食

新しい試みで赤ちゃんのいる家庭に特化した災害食をテーマに関心を持たれて参加くださっていることもあり、熱心にお聞きになっていらっしゃると思います。哺乳瓶の殺菌やどんな場面でバッククッキングが役に立つのかなど細かい説明もいるのだなと質問をお聞きして気がついた。哺乳瓶の殺菌がそもそもできないので、それに代わる代替の紹介もスライドに書き加えたり、動画の中で説明が必要。ミルクを飲ませること一つでも普段、赤ちゃんがどの段階で何ができるようになるのかを知っておくことも関係しているなと感じた。

参加者アンケートより(一部抜粋)

災害食(30代)

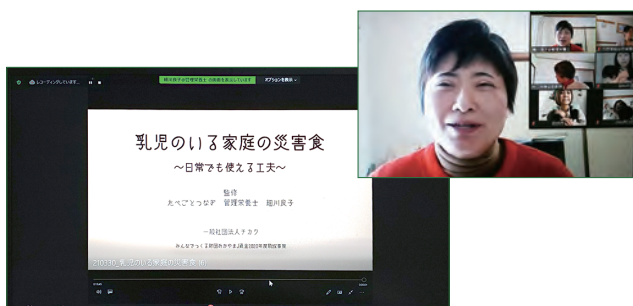
赤ちゃんの食事作りを映像で見ることができて、イメージがしやすかったです。足りないものを発見できましたし、避難所に行くとき用と、自宅で過ごすとき用とを分けて考えておかないといけないと思いました。赤ちゃんを守るためにも大人がしっかり食べないといけないという言葉は印象に残りました。そのためにも野菜や野菜ジュースなど、不足しがちな栄養がとれる食材や水を備えておこうと思います。なかなかスペースがあるので、悩ましいです。

災害食(40代)

レトルトやカップ麺など常に家にあるようにしていたが、全量が足りないことを知った。下の子の食事のことを考えた準備の必要性を実感。具体的には、一人あたり準備する水の量や、少ない水での調理方法。いつもと同じように料理はできないので、時々実践してみるのも大切だと思った。

災害食(30代)

乳幼児に対するの避難所の実態を知ることができて、役立てそう。市販の防災セットを買ってみたが、食べ物関係はセットされておらず、いざというとき大丈夫かなあと不安に思っていた。今日聞いたものを避難セットに加えておこう。



ちやっこひろばのオンラインカフェ ～自分のおうちで、みんなとつながる～

		赤ちゃんの暮らし① 【対象】～6ヵ月まで 【アドバイザー】村口裕美 参加人数(1回あたり) 乳幼児 3.0人 大人 2.8人 年齢構成 0歳54% 1歳42% 2歳4%										赤ちゃんの暮らし② 【対象】7ヶ月～1歳半児 【アドバイザー】村口裕美 参加人数(1回あたり) 乳幼児 3.4人 大人 3.2人 年齢構成 0歳61% 1歳26% 2歳13%										赤ちゃんの食事 【対象】～2歳児 【アドバイザー】細川良子 参加人数(1回あたり) 乳幼児 4.1人 大人 4.1人 年齢構成 0歳58% 1歳24% 2歳15% 3歳3%									
日付	7/16	8/6	9/10	10/29	11/12	12/10	1/14	2/18	3/11	参加者(計)	7/30	8/20	9/17	10/22	11/19	12/17	1/21	2/25	3/18	参加者(計)	8/27	9/30	10/30	11/11	12/18	1/26	2/15	3/15	参加者(計)		
曜日	木	木	木	木	木	木	木	木	木		木	木	木	木	木	木	木	木	木	木		木	水	金	水	金	火	月	月		
0歳	1	1	4	4	1	倉敷ケーブルテレビ取材	参加希望者なし(中止)	1	1	13	4	2	0	0	2	1	5	2	3	19	2	3	1	3	0	5	2	3	19		
1歳	4	5	0	0	1			0	0	10	0	1	1	3	1	1	1	0	0	8	2	2	3	0	0	0	1	0	8		
2歳	0	0	0	1	0			0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1	4	0	1	0	0	1	1	1	1	5		
3歳	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1		
乳幼児	5	6	4	5	2			1	1	24	5	3	1	3	3	2	7	3	4	31	4	6	4	4	1	6	4	4	33		
大人	5	5	4	4	2			1	1	22	5	3	1	3	3	2	7	2	3	29	5	5	5	4	1	6	3	4	33		
満足度	とても満足	2		2	3	2		1	1	11	3	2	1	2	1	2	5	2	1	19	4	5	4	2	1	2	2	3	23		
	満足	3		0	0	0		0	0	3	1	1	0	0	0	0	2	0	0	4	0	0	1	1	0	3	0	0	5		
	やや満足	0	—	0	0	0	—	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	不満足	0		0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
回収率	100%		50%	75%	100%		100%	100%		100%	100%	100%	67%	67%	100%	100%	100%	33%		80%	100%	100%	75%	100%	83%	67%	100%				
補足	・8/6 参加希望者無し、ちやっこから5組参加 ・11/12 ちやっこから1組参加										・10/22 ちやっこから2組参加																				

ママぱれっと 出前ひろば ～専門職のいる気軽な相談ひろば～

		アラ40ママの子育てひろば 【対象】0～3歳児 【アドバイザー】村口裕美 参加人数(1回あたり) 乳幼児 8.0人 大人 6.7人 年齢構成 0歳58% 1歳17% 2歳22% 3歳3%										子リスのひろば①(午前) ～赤ちゃんの遊びのこと～ 【対象】0～1歳児 【アドバイザー】引野里絵 WAM 助成事業 参加人数(1回あたり) 乳幼児 5.5人 大人 5.8人 年齢構成 0歳57% 1歳41% 2歳2%										子リスのひろば②(午後) ～ちよっとこだわる君のこと～ 【対象】2～3歳児 【アドバイザー】引野里絵 WAM 助成事業 参加人数(1回あたり) 乳幼児 7.1人 大人 4.6人 年齢構成 0歳39% 1歳5% 2歳47% 3歳11%									
日付	4/16	5/28	6/19	7/14	8/28	9/24	10/15	11/26	12/15	1/29	2/26	3/25	参加者(計)	8/26	9/29	10/28	11/25	12/8	1/28	2/10	3/17	参加者(計)	8/26	9/29	10/28	11/25	12/8	1/28	2/10	3/17	参加者(計)
曜日	木	木	金	火	金	木	木	木	火	金	金	木		水	火	水	水	火	木	水	水		水	火	水	水	火	木	水	水	
0歳	0		5	4	5	6	1	7	4	5	7	7	51	2	5	4	3	3	3	3	2	25	2	2	2	3	3	3	3	4	22
1歳	3	コロナのため中止	1	3	0	0	4	1	2	1	0	0	15	1	0	2	4	1	4	3	3	18	0	1	0	0	0	1	1	0	3
2歳	0		4	3	3	1	0	4	2	0	1	1	19	1	0	0	0	0	0	0	0	1	4	2	3	3	2	3	4	5	26
3歳	0		0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	1	1	6
乳幼児	3		10	10	8	7	5	12	10	6	9	8	88	4	5	6	7	4	7	6	5	44	7	5	6	7	6	7	9	10	57
大人	3		8	7	7	6	5	9	8	6	8	7	74	3	5	6	7	4	7	7	7	46	5	3	4	4	4	4	7	6	37
満足度	とても満足				5	5	3	4	2	3	4	3	29	3	4	5	5	1	6	4	2	30	2	3	3	4	4	3	6	3	28
	満足				2	1	2	1	2	2	1	0	11	0	1	0	1	0	1	1	0	4	2	0	0	0	0	0	1	1	4
	やや満足	—	—	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	不満足				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
回収率				100%	100%	100%	56%	50%	83%	63%	43%		100%	100%	83%	86%	25%	100%	83%	40%		80%	100%	75%	100%	100%	75%	100%	67%		

ママぱれっと 出前ひろば									
タンブリングタイム ～ママと赤ちゃんの転がる時間～ 【対象】～3歳児 【アドバイザー】引野里絵 WAM 助成事業									
参加人数(1回あたり) 乳幼児 6.5人 大人 5.5人 年齢構成 3歳 10% 0歳 56% 1歳 21% 2歳 13%									
日付	10/23	10/26	10/30	11/18	11/25	3/19	3/20	3/20	参加者(計)
曜日	金	月	金	水	水	金	土 AM	土 PM	
0歳	4	5	4	資料未着のため延期	資料未着のため延期	2	4	3	22
1歳	2	1	3			1	1	0	8
2歳	0	2	2			0	0	1	5
3歳	1	1	0			0	2	0	4
乳幼児	7	9	9			3	7	4	39
大人	6	6	7			4	7	3	33
満足度	とても満足	4	3	2			2	2	13
	満足	1	1	2			1	0	5
	やや満足	0	0	0	—	—	0	0	0
	不満足	0	0	0			0	0	0
	回収率	83%	67%	57%			60%	67%	

※参加人数集計には含まない									
乳児のいる家庭の災害食 【アドバイザー】細川良子 WAM 助成事業									
相談支援のゲンバの可能性オンライン 遠野のわらべうた 【アドバイザー】木津陽子									
日付	3/30	参加者(計)	3/19	参加者(計)	11/30	11/30	参加者(計)		
曜日	火		金		月 AM	月 PM			
0歳	3	3			3		3		
1歳	0	0			2		2		
2歳	2	2	—	—	1	—	1		
3歳	0	0			0		0		
乳幼児	5	5			6		6		
大人	6	6	9	9	9	9	18		
満足度	とても満足	4	4	0	0	5	5	10	
	満足	2	2	0	0	0	4	4	
	やや満足	0	0	0	0	0	0	0	
	不満足	0	0	0	0	0	0	0	
	回収率	100%		0%		56%	100%		

※アンケートは家族単位で実施しました。[]は、夫婦でご参加のため、参加者数とアンケート回収率が異なっています。

■ 参加人数集計 (2021/3/31 現在)

合計参加人数		1回あたり
乳幼児	316人	5.4人
大人	274人	4.7人

延べ家族数 266組

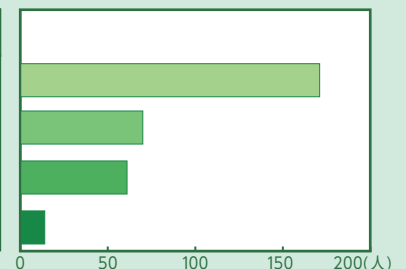
全体利用者実数			
97組 (大人109人・乳幼児111人)			
利用者の住まい			
倉敷市	75組(77%)	浅口市	2組(2%)
岡山市	14組(15%)	大阪市	1組(1%)
早島町	3組(3%)	不明	2組(2%)

【WAM助成事業】利用者実数			
54組 (大人60人・乳幼児68人)			
利用者の住まい			
倉敷市	40組(74%)	早島町	1組(2%)
岡山市	11組(20%)	その他	2組(4%)

その他 (大阪府枚方市・不明それぞれ1組)
 ※子リスのひろば・タンブリング

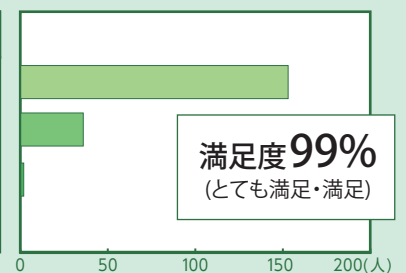
■ 年齢別割合

年齢別		
0歳	54%	171人
1歳	22%	70人
2歳	19%	61人
3歳	5%	14人



■ 満足度割合

アンケート調査満足度		
とても満足	80%	153人
満足	19%	36人
やや満足	1%	2人
不満足	0%	0人



| やや満足の理由 |

- ・質問への回答が最後になり、結局時間が足りず回答が途中になってしまった。グループ分けの人数のバランスが偏っていたように思う。
- ・息子がぐずりあまり参加できなかった。



チカクのこと

一般社団法人チカクは、倉敷駅前にあった倉敷チボリ公園の公益性の一部（地縁・血縁から程よく離れたコミュニティとしての存在と事業）を継承するために、閉園直前の2008年12月26日に、チボリで働く女性スタッフが設立した非営利型の一般社団法人です。チボリの閉園は当時500億以上の第三セクターの清算という尋常ならざる事態であり、仲間たちとやむにやまれず立ち上げ、その後、継続して活動していく中でさまざまな人と出会い、事業を積み上げてきました。

設立から一貫して、社会の中の大小さまざまな矛盾や不具合を批判、論評するだけでなく、当事者として身近な課題に取り組んでいきたいと私たちは考え、行動してきました。目指しているのは、乳幼児から10歳くらいまでの子どもとその親を含む、小さな「コミュニティ」を、さまざまな形で町なかを作り続けること。そこで、活動を通じて、自然災害が多い日本で未来を生きる子どもたちのために、「当事者意識」を持って取り組む「姿勢」の大切さを地域のみならずにも伝えていきたいと思っています。

チボリで、私たちは町なかの森を育てていました。そしていまも森を育てよう人に育てる「志」をもって、事業を続けていこうと思っています。

2009年2月19日付の山陽新聞で、チカク設立が紹介されました。



地域子育て支援拠点のこと

倉敷市茶屋町駅前にある「ちやっこひろば・チカク」は、全国に約7300カ所ある「地域子育て支援拠点」の一つです。ここは、倉敷市からの委託で運営される、0〜3歳児と保護者の居場所・相談の場として、地域の親子と細く長くつながり、さまざまな子育て支援サービスに結び付けたり、親子の様子やつぶやきから、必要とされる支援を生み出す役割を担っています。

ちやっこひろば・チカク（倉敷市地域子育て支援拠点）
※詳しくは左のQRコードより「ちやっこひろばカレンダー」をご覧ください。



一般社団法人チカクの地域支援事業2020年度

ちゃやっこひろば・チカク

〈倉敷市委託 地域子育て支援拠点事業〉

こども(主に0才～3才児)と保護者が気軽に安心して遊びに来ることができる居場所です。時間中いつ来ても、いつ帰ってもかまいません。たくさん遊んだり、おしゃべりしたり、本を読んだり、情報交換したり…。子育て支援の経験があり訓練を受けたスタッフが、みなさんの声に耳を傾け見守ります。なんだかちょっと、つかれちゃったな…。そんなとき、ここに遊びに来てくださいね。年間240日程度開催。

【会場】 倉敷市茶屋町269-1 植野ビル2階
 【利用】 無料(予約イベントなど除く)
 【開催時間】 平日10時～15時(不定期休あり)

ようちえんごっこ プチぱれっと

《2歳児からのプレ幼稚園》会員向けサービス

幼稚園に行く前のこどもたちが週1回3時間(スモモぐみは週1～2回)、1年間、お弁当を持って通うプレ幼稚園です。経験豊かな保育士のもと、同じクラスのお友だちといっしょに季節の行事も楽しみながら、たくさん遊んで、たくさん経験を重ねます。家族から離れはじめて『なかま』を体験する、そんな場所です。次年度入会の説明会の募集は例年11月以降に行っています。週1～2回コース(年間40回～80回)があります。

【会場】 スモモぐみ(岡山市北区野田)
 ナツメぐみ(倉敷市中島)
 【対象】 その年の4月時点で2歳以上のお子さん

ちゃやっこひろばのオンラインカフェ ～自分のおうちで、みんなとつながる～

ほかのママや赤ちゃんの様子も知りたいけど、この時期、会いに行きづらい…。生まれたばかりの赤ちゃんと一緒に参加できない…。そんなアナタのためのオンラインカフェ。テーマは「赤ちゃんとの暮らし・食・からだ」のこと。ひとりでも初めてでも大丈夫。不安なことも疑問も安心してお話できます。それぞれ月1回開催。

【参加無料・要予約】

赤ちゃんの暮らし①

【対象】 ～6カ月まで
 【時間】 10時～12時
 【内容】 生まれたばかりの赤ちゃんと一緒に、おうちにいながらオンラインで、アドバイザーやほかのママたちとつながります。

赤ちゃんの暮らし②

【対象】 7カ月～1歳半児
 【時間】 10時～12時
 【内容】 離乳食のことや食生活のこと、赤ちゃんの社会性のこと。なんでも安心して話していただけるオンラインカフェです。

赤ちゃんの食事

【対象】 ～2歳児
 【時間】 10時～12時
 【内容】 食に関する様々な悩みにお答えしながら、離乳食に転用できる簡単な調理の仕方を動画を交えて学びます。

【メインアドバイザー】村口裕美さん(助産師・看護師・保健師)

〈倉敷市委託 地域支援事業〉

【アドバイザー】細川良子さん(管理栄養士)

〈みんつくJ資金助成事業〉

ママぱれっと 出前ひろば ～専門職のいる気軽な相談ひろば～

「出前ひろば」は、ベテラン助産師、人気の作業療法士などの専門職がいる気軽に相談できる「居場所」です。対象児の年齢や、お悩みによってプログラムが分かれています。それぞれ月1回開催。

【参加無料・要予約】

アラ40ママの子育てひろば

【対象】 0～3歳児
 【時間】 10時～12時
 【会場】 くらしき健康福祉プラザ(倉敷市)
 【内容】 助産師の村口先生、同年代のママたちと子育ての悩みをお話して、スッキリ。

【アドバイザー】村口裕美さん(助産師)

〈倉敷市委託 地域支援事業〉

子リスのひろば①

～赤ちゃんの遊びのこと～

【対象】 0～1歳児
 【時間】 10時～12時
 【会場】 いかしの舎(早島町)
 【内容】 赤ちゃんのかかわりがわからない…。そんなときに来てみてくださいね。

子リスのひろば②

～ちよっとこだわる君のこと～

【対象】 2～3歳児
 【時間】 13時～15時
 【会場】 いかしの舎(早島町)
 【内容】 育てづらさを感じることがありませんか?悩んでいるなら、ここに来てみませんか?

【アドバイザー】引野里絵さん(作業療法士)

〈WAM2020助成事業〉

タンブリングタイム ～ママと赤ちゃんの転がる時間～

〈WAM2020助成事業〉

0歳から体を動かす喜びを! 赤ちゃんと目を合わせ、親子で楽しめる遊び方や知恵を学びます。デンマーク・ボプルス社の赤ちゃんのための転がる家具Boblesを使います。

子ども防災ネットワークおかやま

県内の企業、NPO とともに、園児向けの防災出前講座のほか、防災に関する情報発信を SNS などを通じて行っています。

夏休み★宿題応援団

小学生以上を対象としたモノづくりの講座です。地元のアーティストに指導を受けて、毎年素敵な作品が生まれています。

各種公演・講演・講座など

ファミリーミュージカル「ハンスの冒険」の復活公演、キャラクター管理のほか、各種講演・講座などを行っています。

【連携事業】

チカクの歩み

「0歳児の発達支援に特化した地域拠点事業」を企画運営した一般社団法人チカクは、倉敷市を拠点に、これまで以下のようなさまざまな団体と連携して事業を行ってきました。

夏休み★宿題応援団

2004年8月～現在

チボリの中で行っていた夏休みの工作教室(写真①)を自主事業、倉敷市環境学習センター委託事業として継続。現在はコロナ禍のため休止。



ようちえんごっこプチぱれっと

2010年10月～現在

経済産業省の助成金を受けたNPO法人ぱれっと(高槻市)からノウハウ移転を受け、プレ幼稚園事業をスタート。現在も倉敷市・岡山市で毎年40名前後の2～3歳児を受け入れている(写真②)。またこの事業について中小企業大学校関西校で「公益性を目的とした起業の事例」としてNPO法人ぱれっと代表と報告を行った。(2018年、2020年)



子ども防災ネットワークおかやま

2011年11月～現在

東日本大震災をきっかけに当時の全労済岡山県推進本部および県内の子育て支援NPOとこどものための防災教育の推進を目的に設立(写真③)。以来現在に至るまで、96カ所、3,500人以上の乳幼児を中心としたこどもたちを対象に、防災体験プログラムの出前講座を行い、またSNSなどでこどもにまつわる防災情報の提供を行っている。



倉敷まちづくりびと展

2012年4月～2017年3月

倉敷市市民活動推進課からの委託で、市民協働提案事業の採択団体の活動紹介を商業施設のイベントとして企画。その準備から運営までの実際を各団体が体感する仕組みと、団体が細かく情報発信できる仕組みを構築した。このイベントの集客イベントとして、倉敷チボリ公園の人気ミュージカル「ハンスの冒険」※を「紙芝居オペレッタ」(写真④)などとして再演した。※ハンスの冒険は2011年3月に個人・法人などから支援を得て、チカクが事務局となり、劇場公演を果たしている。(写真⑤⑥)



ちゃやっこひろば・チカク

2012年10月～現在

倉敷市委託の地域子育て支援拠点事業。全国に6800カ所以上あり、倉敷市内では19カ所ある地域子育て支援拠点の一つ。茶屋町の駅前の100㎡の拠点で、平日10時から15時まで保育士など2名が常駐して0歳～3歳までの子とその親の支援を行う(写真⑦)。年間会員数243世帯、利用者数約6016人(2019年度実績)。写真は、地域支援として行うアラ40ママの子育てひろば(写真⑧)、茶屋町ふれあいクリスマス(写真⑨)。



高梁川流域地域づくり連携事業①

2017年7月～2018年3月

「こどもの防災を考えるくちやっこ・こっこプロジェクト」として防災体験プログラムの内容を総社市内の子育て支援拠点を運営するNPO法人子育て・応援こっこに技術移転。



岡輝みんな食堂

2017年10月～2018年3月

岡山市岡輝地区の福祉事業所、経営者などからなるグループのコミュニティ食堂の立ち上げ支援を行った。備前地域いきいき子どものくらし応援事業(支援基盤形成事業)。



真備臨時託児室

2018年7～8月

豪雨災害で保育所、支援センターが全滅した倉敷市真備地区で、地域子育て支援拠点の一員として、0～2歳児を対象とした託児室の運営をサポートした。



高梁川流域地域づくり連携事業②

2018年7月～2019年3月

「障がい児の保護者の居場所づくりノウハウ移転事業」として居場所づくりのノウハウ移転を、NPO法人ペアレント・サポートすてっぷから受けた。



0歳児の発達支援に特化した地域拠点事業～ママぱれっと

2018年4月～2021年3月

「0歳児の発達支援」に視点を持つ支援者の育成と居場所づくりを目的に、対象者ごとのプログラムを実施。助成最終年となる2020年度はさまざまな資金を活用しながら、オンラインカフェや動画の制作などにもチャレンジ。4年目を以降も継続して実施できる体制に導いた。

ママと赤ちゃんの転がる時間「タンブリングタイム」

2020年10月～現在

2019年10月、スカンジナビア・日本笹川財団の助成により、北欧の乳幼児の保育および支援施設を視察(写真⑩)。視察先の一つであったデンマーク・ボルス社との連携により、0～1歳児向けの運動発達のプログラムを開始した。



ジブンのこと。

忙しさのなかで、忘れがちなジブンのこと。
あなたのキモチも、子どものキモチも
だから時々、丁寧に拾い上げてあげましょう。
ジャッジ(判断)しなくていいの。
その時のそのキモチのまま。
あとで、リラックスしているときに読み返してみてね。

相談できる人と一緒に書いたり、
読んでみたりするのも、おすすめ。
オトナも子どもも、もっとジブンのことを、
コトバにして、知ってほしいと思って、
このシートを作りました。

大切なキロク。

<hr/>		年 月 日
<hr/>	<hr/>	年 月 日
<hr/>	<hr/>	年 月 日
<hr/>	<hr/>	年 月 日
<hr/>	<hr/>	年 月 日

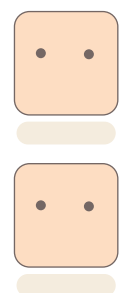
★名前の由来やお誕生のことなど節目となるエピソードを記録しよう。

エピソード★

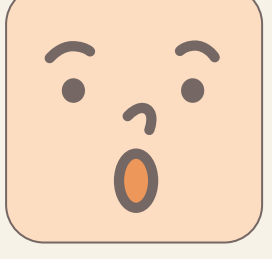
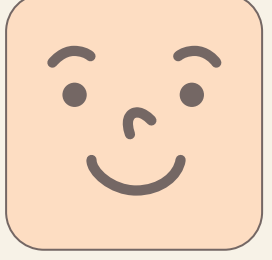
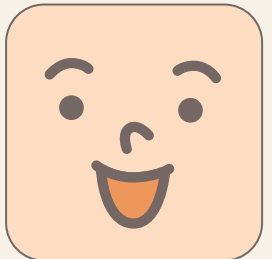
★日常の何気ないエピソードも、あとで読み返すと発見があるよ。

1

年 月 ごろ

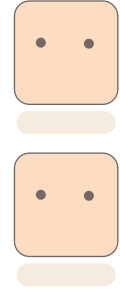


アナタとお子さんのその時のきもちを右のイラストを参考に書き込んでおこう！



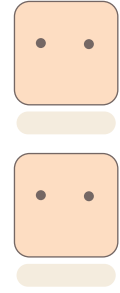
2

年 月 ごろ



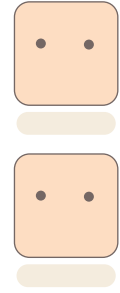
3

年 月 ごろ



4

年 月 ごろ



コドモのキモチ★

オトナのキモチ★

★時々「コドモのキモチ」と「オトナのキモチ」を分けて考えてみるのもいいと思う。





ママぱれっと

ママと赤ちゃんの居場所

企画・運営

一般社団法人チカク



〒710-1101 岡山県倉敷市茶屋町269-1 植野ビル2階
電話 080-2900-8110
メールアドレス ekinotikaku@gmail.com

アドバイザー

ぐらん・ま 倉敷自然育児相談所 村口 裕美
RICS リエ・チャイルド・サポート 引野 里絵
たべごとつなぎ 細川 良子

ロゴ・冊子デザイン

Graphicatelier 田辺 美由紀

写真協力

加田 務



2018年～2020年度に行った事業については、
こちらから報告書をダウンロードできます。

←「ママぱれっと報告書」